

都民の森の白炭を使った、
コーヒー焙煎体験会を開催

11月22日から開催されている、「あきがわ
アートストリーム2025」の文化体験のひ
とつとして、都民の森で焼いた白炭（しろず
み）を使った、コーヒー豆の焙煎体験会を実
施する運びになりました。コーヒーを通じ
て、檜原村で受け継がれてきた炭焼き文化を
紹介できたら、と考えています。

また、都民の森で炭焼きの講師をされてい
る方をお招きする予定になっています。焙煎
したての豆で淹れたコーヒーを飲みながら、
檜原村の炭焼きについてお話を聞くことで、
参加した方に村の歴史文化を感じてもらえ
たら嬉しいです。

【白炭（しろずみ）について】

千度以上の高温で焼いた硬質な炭。釜から
出した炭の消火と冷却のために素灰（すば
い…灰と砂を混ぜたもの）をかけ、仕上がっ
た炭が白っぽくなる。煙やにおいが少ないた
め、料理に適している。遠赤外線の効果で、
素材の芯まで均一に熱が通る。

【コーヒーについて】

焙煎する豆は、マンデリンとジャバ・ロブ
の2種類。手網焙煎器と火鉢で深煎りしま
す。ネルドリップで淹れる予定です。

【概要】

日時…12月7日（日） 13:30～

会場…ヴィレッヂヒノハラ（笹平）

※その他の詳細、申し込みはヴィレッヂの
ホームページからお願ひ致します。

今後も開催したいと考えています。こちら
の紙面や、協力隊のフェイスブックなどでお
知らせしたいと思います！（松本）

檜原村産のゆず炭酸、入荷
来シーズンに向けた準備も

今年の7月から、村内を中心に試験販売
を開始した、ゆず炭酸とゆずコーラです
が、それぞれ200本ずつを2回仕入れ、10
月上旬から在庫がない状態が続いていま
した。本当にありがとうございます！

11月14日に、製造元であるときがわブ
ルワリー（埼玉県ときがわ町）から、400本
ずつ仕入れることができました。約1年間
の賞味期限があるとはいえ、観光客の少な
い冬の時期にどうやったら手に取ってい
ただけるか、頭をひねっているところで
す。

今まではおみやげ品としての販売、とい
うことを意識していましたが、今後は、飲
食店のメニューや、宿泊施設のウェルカム
ドリンク、エコツアーでの試飲、イベント
やアンテナショップでの販売、などの展開
を考えています。村内外でご縁をいただい
た方々に相談している最中です。

また、次のシーズンの製造に向け、ゆず
の収穫場所の確保や、ときがわブルワリー
との打ち合わせも進めています。年内にと
きがわブルワリーにゆずを持ち込んで果
汁を絞ってもらい、ゴールデンウィーク前
に販売を開始できるのが理想的だと思っ
ています。

そのためにはまず、今回の在庫を売らな
ければいけません。地域振興券をどうして
も使い切れない方などがおりましたら、1
枚でちょうど2種 お試しできるくらい
の価格になっておりますので、ご協力をお
願ひいたします！笑（松本）



自然観察記

「シモバシラ」という自然現象をご存知でしょうか。多くの方は冬の寒い朝
に地面に立つ氷柱、いわゆる「霜柱」を思い浮かべるかと思いますが。これは地
中の水が毛細管現象によって地表まで吸い上げられて柱状に凍結したものにな
ります。子どもの頃、ザクザクとした音と感触が楽しくて踏みつけて遊んだ結
果、よく靴を泥だらけにしたものでした。

今回スポットライトを当てたいのは、植物のシモバシラです。シソ科に属す
る多年草で、関東以西、四国、九州に分布します。山地の木陰などに生育し、
夏の終わりごろから秋にかけて白い穂状の花を咲かせます。しかし、このシモ
バシラが最も脚光を浴びるのは花の時期ではなく、むしろ枯れた後になります。
冬の良く冷え込んだ朝に、枯れた株元に氷の花を咲かせることがあるのです。
地上部が枯れた後も根は活動を続けており、吸い上げた水が毛細管現象により
茎の維管束の中を上がって行き、それが茎の割れ目からしみ出して凍るとい
う仕組みです。リボンや渦巻き、あるいは綿菓子のような見た目で、ふたつとし
て同じ形がない氷のアートとも言えるでしょう。この氷の花を咲かせる現象か
ら、シモバシラという和名が付けられました。

そんなシモバシラ現象ですが、実は他の植物でも見られることがあります。
カメバヒキオコシ、セキヤノアキチヨウジ、ヤマハツカ、テンニンソウなどが
該当します。これらはシモバシラと同じシソ科に分類されます。シソ科の植物
の特徴として真っ先に思い浮かぶのは、茎の断面が四角いという点です。なに
か独特のメカニズムでもあるのでしょうか。

檜原村でこのシモバシラ現象を観察するなら、都民の森の森林館周辺がおす
すめです。枯れたカメバヒキオコシの根元に目をやったその先に、自然が織り
なす儚くも美しい氷の芸術作品を観賞することができますかもしれません。（林）



シモバシラのシモバシラ



カメバヒキオコシのシモバシラ



林 陽浩（はやしあきひろ）

1976年生まれ。東京都出身。千足
在住。着任9ヵ月目。趣味は登山
と観瀑。推しは三頭山と菅平の滝。



／ 空き家の相談受付中 ／

空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで！

☎042-519-9556

自然と共生 ～檜原村で始める自然農法～

こんにちは、みなさん！ 研修で知り合った地域おこし協力隊の仲間が南部が深まってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年にはんにく作りチャレンジします。理由は、単純にんにくが大好きだから。目指すゴールは、出来上がったにんにくで生ニンニク、乾燥ニンニク、黒ニンニクを商品化することです。選んだ品種は青森県産の「福地ホワイト六片」。これは福地村（現在は合併し、南部町）が原産地で、雪のように球が白いことから、この名前が付いたそうです。たまたま、

均最低気温は、氷点下2度から5度程度の間。青森県の豪雪地帯で知られる津軽地方などと比較しても積雪量は少なく、雪が降ってもすぐに溶ける日が多いとのこと。青森のにんにく農家さん曰く、にんにく作りで一番大事なことは、排水性を良くすること。さらに昼夜の寒暖差を大きくすること。つまり、檜原村の畑は美味しいにんにくができるポテンシャルが高いと考えています。今回使用する畑は菌ちゃん畑ではなく、きのこセクターでいただいたキノコズと風張峠で拾った

たたくさんの腐葉土を土にすき込み、あとは苦土石灰と鶏糞を使用し、土のPHは6ぐらいにしました。来年から本格的に、にんにく栽培をスタートできると、今年には色々と栽培実験していきたいと思っています。より大きく、美しく、育てやすい条件をみつけないとと考えています。まず畑ですが、日当たりが良い場所、標準的な場所、そして日照時間が短い場所と、立地の異なる3カ所に分けています。立地条件に加え、さらに2つの工夫を考えました。1つ目は、

植付け前の「下準備」の違い。薄皮を剥いて「つるつる」にしたものと、薄皮をそのまま残して植え付けたものの、この2パターンで比較栽培を行います。2つ目は、植え付け時期の違い。時期は、10月中旬と11月中旬に分けて植え付けています。本来であれば9月中旬の早期植え付けも比較したかったのですが、間に合いませんでした。この連載を通じて、写真や具体的な経過をご報告させていただきます。応援いただけると嬉しいです。（高橋）



10月中旬植え付け（千足）
比較的順調に成長中
日照時間が短い



11月13日植え付け（小沢A）
薄っすらと芽がでてきました
日照時間が長い



11月13日植え付け（小沢B）
11/21時点では発芽はまだ
日照時間は中

地域おこし協力隊へのご依頼は
檜原村役場 むらづくり推進係へ
☎042-519-9556

協力隊各種 SNS は
QRコードから！➡



師走を迎え、今年も残すところあとわずかとなりました。一気に寒くなり、車の窓ガラスが凍って危うく遅刻しそうななることも。檜原の冬の冷えこみはまだまだこんなものではないので、いつ湯たんぽをしようかと考える毎日です。気温差が大きい日も多いため、体調を崩さずに新年を迎えたいですね。（松本）

編集後記



地域おこし協力隊 メンバー
まつもと 松本 よしふみ 圭史 なかざわ 中澤 だいき 大樹
たかはし 高橋 まさき 政樹 はやし 林 あきひろ 陽浩

村内で見かけたら、お声かけください！

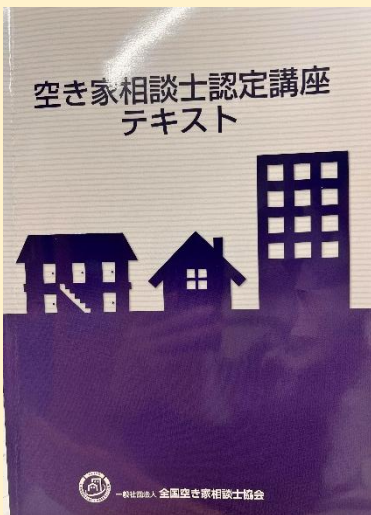
空き家相談窓口のご報告

空き家相談士という資格をご存知でしょうか？

恥ずかしながら、私も最近知りました。講義とテストで資格取得ができるというところで、受講してきました。内容としては、空き家に関する法律関係の講義、税金に関する講義、建築に関する講義、管理・予防・利活用・相談業務に関する講義を受けました。

法律に関する講義では、現在行っている「空き家相談窓口」の業務に関することが多く、以前からこの新聞でお話している内容が多くありました。

相続に関する内容が多く説明され、現在行っている業務が、一番大変な所であり、重要な所であると実感することができました。



テキストは 300 ページありました。

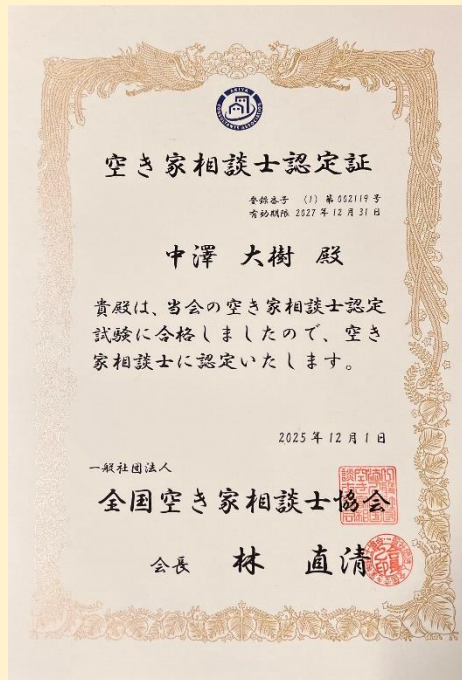
税金に関する講義についても、現在の業務でも取り扱っている内容もあり、固定資産税や贈与税、不動産取得税など、どのように計算されているかなどの講義が中心となりました。処分に困っている空き家をどのようにしたら、税金面や売買・賃貸などの収入がどのようになるのかをシミュレーションすることが大事であり、それを説明することを学んできました。

まだまだ知らない知識もあるので、様々なことも勉強を続けていきます。特に司法書士に関連することを勉強しています。不動産の登記に関わる内容が中心ですが、今の業務に関係していること、村の空き家問題を解決するために、自分ができることをやっていきたいと考えています。

来年度以降、地域おこし協力隊を卒業しても継続して窓口業務を行っていく予定です。で、何かわからないことや、相談してみたいことがあります。したら、ご連絡ください。

もしお困りの人がいらつしやったら、ご紹介ください！

ゆつくり時間がかかることでもあります。お手伝いさせていただきます！



無事に資格取得することができました！



特に何かができるようになるような資格ではありませんが、空き家に関する様々な視点の知識を有しているという資格になります。今後の空き家に関する活動に役立てていきたいと思っています！（中澤）